

知れば知るほどまちが好きになる、女性限定のまち歩きツアー

「まちとつながる旅」開催

「まちとつながる旅」では、実際にその町に住む人に町を案内してもらうことによってその町ならではの街並みや風景、お店、そこに暮らす人など、まちを歩いてみて初めて分かるその町の魅力や新しい発見ができます。



まちを歩き、まちを知る
そしてまちとつながる

10月9日、東北地域に移住・転入した女性を対象に、まち歩きツアー「まちとつながる旅」（企画…一般社団法人tenten）が開催されました。参加者は東北地域に移住・転入した女性で、伊達市や福島市、二本松市など町外からの参加者も含めて6名が参加しました。

今回のイベントでは飯坂小学校の児童が作成した『みんなおいでよ川俣おさんぽマップ』を見ながら、川俣町在住の遠藤典子さんを案内役に招き、約3時間、徒歩で7か所の訪問地を巡りました。

◁「まち歩き」をした飯坂小学校の児童たちが作成したパンフレット。





1



2



3



4



5



6

1.2.3 堀川商店、ふじや書店、ほばらや生花店を巡りました / 4. 高橋家住宅で村上紗さんより高橋家や川俣町の歴史の説明を聞きました / 5. 竹屋菓子店の古関裕而青春の飴 / 6. 仙臺屋で店主の木村重幸さんから古関裕而さんの川俣銀行時代の話聞きました



あきこ

小林 朗子 さん (伊達市)

まちなかを歩くだけでいくつもの発見がありました

海 外との交流が盛んだったということが、建物の窓や屋根、街並み全体に出ているととても興味深かったです。また、新しいものを取り入れるという気質は、東京出身の私が東北に来てから抱いていた「保守的」な性格とは真逆で、今回のイベントでこの町に住む「人」にも興味が湧きました。

昔からの街並み、様々なイベント、川俣町にまた来たいです

今 まで川俣町に来たことはなかったのですが、朝の連続テレビ小説「エール」を観ていて興味があったので、説明を聞きながら町内を巡ることができてとても良かったです。江戸時代の建物などを綺麗に保存していて、魅力的な街並みだと思いました。イベントなどがあったらぜひ参加したいです。



ちか

鎌田 千翔 さん (福島市)

女性が自分らしく、いきいきと暮らせる福島に

私 自身、結婚を機に東京の職場を退職し、福島県へ転入してきました。知り合いも友達もない、そんな状況で「働きたい」「何かをやりたい」という思いを実現出来ずにいました。そんな時、住んでいた町のご夫婦との出会いをきっかけに地域の方と交流する機会が増え、居場所ができて、楽しく暮らすことができました。その時感じた「同じ境遇の女性と地域との架け橋となるサポートがあれば」と思い「転 (ten) 入」「転 (ten) 勤」としての活動を始めました。「地域や社会と繋がり、自分らしくいきいきと生活する」そんな福島を作っていければと思います。



一般社団法人 tenten

なつき

藤本 菜月 さん